

(株)東京航業研究所、(有)文化財 COM

6. 発掘調査ならびに整理作業参加者は下記の皆様である。特に、大井氏館跡遺跡第14地点の調査にあたっては富士見市教育委員会ならびに同市作業員の方々に多大な協力を頂いた。また、江川南遺跡第19地点の調査にあたっては上福岡市教育委員会ならびに同市作業員の方々に多大な協力を頂いた。記して厚く感謝の意を表したい。

〈発掘調査参加者〉(敬称略)

新井和枝、飯塚泰子、井上晴江、内田潔、大曾根キク子、笠原英子、加藤智香子、金子君子、小林こずい、河野匠、河野格、酒井昭、佐久間ひろ子、篠崎忠三、鈴木英子、鈴木エミ子、鈴木勝弘、関田成美、高貝しず子、戸澤竹二、中嶋末子、野岡由紀子、林きぬ子、比嘉洋子、増沢勝実、村端和樹、若尾久美子、若林紀美代

(富士見市教育委員会) 飯田久子、上田寛、川上文明、佐々木真理子、島田仁、清水七枝、関根輝子、高野ナミ、塚本政勝、戸田美根子、富田茂夫、中川和弘、成田淑美、成田良一、羽田美代子、吉田信江

(上福岡市教育委員会) 長田弘毅、壱岐ヒサ子、井川弘、宇佐美弘澄、遠藤忠志、小田静夫、小野沢保孝、菊口繁子、西城満期子、鈴木ちい、滝沢久嘉、富寺佐代子、中村正、宮崎達夫、吉田寛

〈整理作業参加者〉(敬称略)

青山奈保美、石垣ゆき子、大久保明子、小林登喜江、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子、中田藤子、福島雅子、山口妙子

凡 例

1. 本書の遺構・遺物挿図の指示は以下のとおりである。

(1) 縮尺は原則として

遺構配置図 1 : 300 遺構平面図・遺物出土状況図 1 : 60、1 : 30 炉などの詳細図 1 : 30
土器実測図 1 : 4 土器拓影図 1 : 3 石器実測図 1 : 3、2 : 3 銭 1 : 1

(2) 遺構断面図の水糸高は海拔高を示す。明記していないのは同図版中の前遺構の海拔高に同じ。

(3) 遺構図における screen-tone の指示、遺物出土状況のドットの指示。

攪乱  地山(ローム)  焼土 
土器 ● 石器★ 黒曜石・チャート▲ 礫○

(4) 土器実測図における screen-tone の指示。

地文縄文  撚糸文 

(5) 土器断面図は、「網目」が繊維含有、●が雲母粒を含有する縄文土器を表わしている。

2. 住居跡名は、遺跡内の通し番号にしている。

3. 本報告にかかる出土品及び記録図面・写真等は一括して大井町教育委員会生涯学習課に保管してある。

第2表 2002年度埋蔵文化財調査一覧表

	遺跡・地点名	申請地	面積(㎡)	原因	試掘期間	調査期間	備考
1	亀居遺跡第56地点	亀久保2-13-14	172	個人住宅	—	2002.11.5~11.21	教育委員会で本調査
2	鶴ヶ舞遺跡第6地点	鶴ヶ舞1-84	474	個人住宅	2002.9.10~9.13	—	試掘調査
3	江川南遺跡第16地点	東久保1街区	3,752	給油所	2002.9.24~10.4	—	試掘調査
4	江川南遺跡第17地点	東久保1街区20,22,23	474	土地区画整理	2002.10.29~11.11	—	試掘調査
5	亀久保堀跡遺跡第27地点	東久保31街区2,3画地	980	店舗	2002.6.10~6.11	—	試掘調査
6	東久保遺跡第50地点	東久保3-22	102	個人住宅	2002.9.24	—	試掘調査
7	東久保遺跡第51地点	東久保18-11画地	155	個人住宅	2002.12.3	—	試掘調査
8	東久保遺跡第52地点	東久保4街区3画地	64	個人住宅	2003.2.6~2.7	—	試掘調査
9	東久保西遺跡第15地点	東久保9街区3画地	225	個人住宅	2003.2.3~2.5	—	試掘調査
10	東久保南遺跡第27地点	東久保63街区1画地	610	共同住宅	2002.5.29~6.7	—	試掘調査
11	東久保南遺跡第28地点	東久保60街区3・4画地	322	共同住宅	2002.9.13~9.21	—	試掘調査
12	東久保南遺跡第29地点	東久保64街区1・4画地	736	駐車場	2003.3.17~3.20	—	試掘調査
13	西ノ原遺跡第122地点	大井苗間西ノ原99-1	165	個人住宅	—	2002.6.21~7.22	教育委員会で本調査
14	西ノ原遺跡第122地点	大井苗間西ノ原99-1	155	個人住宅	—	2002.6.21~7.22	教育委員会で本調査
15	西ノ原遺跡第122地点	大井苗間西ノ原99-1	132	個人住宅	—	2002.6.21~7.22	教育委員会で本調査
16	西ノ原遺跡第122地点	大井苗間西ノ原99-1	140	個人住宅	—	2002.6.21~7.22	教育委員会で本調査
17	西ノ原遺跡第123地点	大井・苗間19街区10画地	252	共同住宅	2002.9.3~9.9	—	試掘調査
18	西ノ原遺跡第124地点	苗間137-2	524	個人住宅	2002.10.2~10.6	2002.10.8~10.11	教育委員会で本調査
19	西ノ原遺跡第125地点	旭1-8-2	182	個人住宅	2003.2.14~2.19	—	試掘調査
20	中沢前遺跡第20地点	大井・苗間33 35-8-1	762	老人介護施設	2003.2.3~2.5	2003.4.7~6.3	試掘後、調査会で本調査
21	中沢前遺跡第24地点	大井・苗間30-5	185	個人住宅	2003.2.7~2.13	—	試掘調査
22	神明後遺跡第18地点	苗間304-1,303-6	672	分譲住宅	2002.5.15~5.25	2002.5.27~6.21	試掘後、調査会で本調査
23	神明後遺跡第19地点	苗間264-4	216	個人住宅	2002.9.18~20	—	試掘調査
24	神明後遺跡第20地点	苗間293-11	143	個人住宅	2003.1.14~1.15	—	試掘調査
25	神明後遺跡第21地点	苗間283-1	674	造成	2003.1.10~1.30	—	試掘調査
26	浄禅寺跡遺跡第22地点	苗間373-5,377-5・3・4,373-8	935	分譲住宅	2002.4.23~5.14	—	試掘調査
27	大井宿遺跡第7地点	大井・苗間37街区14画地	257	事務所	2002.4.15~4.16	—	試掘調査
28	大井宿遺跡第9地点	大井1-3-14,15	1,617	宅地造成	2003.2.26~4.3	2004.7.30~9.3	試掘後、調査会で本調査
29	大井氏館跡遺跡第14地点	大井・苗間129街区2画地	984	共同住宅	2002.5.22~6.6	2002.6.20~8.9	試掘後、調査会で本調査
30	大井氏館跡遺跡第15地点	大井・苗間126街区1画地	135	個人住宅	2002.7.24~8.2	—	試掘調査
31	大井氏館跡遺跡第16地点	大井2-242-1	677	個人住宅	2002.8.5~8.22	2002.8.23~9.5	教育委員会で本調査
32	大井氏館跡遺跡第17地点	大井1-11-9	50	道路	—	2002.11.19~12.2	教育委員会で本調査
33	大井氏館跡遺跡第18地点	大井・苗間80-6-9	476	個人住宅	2003.1.17~1.22	—	試掘調査、大井宿8地点を変更
34	本村遺跡第99地点	大井・苗間99-1	446	共同住宅	2002.6.19~21	2002.7.1~7.31	試掘後、調査会で本調査
35	本村遺跡第100地点	大井・苗間85街区7画地	463	分譲住宅	2002.8.20~8.26	—	試掘調査
36	本村遺跡第101地点	大井・苗間131-2	217	店舗併用住宅	2002.9.30~10.4	—	試掘調査
37	本村遺跡第102地点	大井・苗間101-7画地	1,264	共同住宅	2002.11.11~11.15	2002.12.11~2003.2.10	試掘後、調査会で本調査
38	本村遺跡第103地点	大井143	237	個人住宅	2003.2.13~2.18	—	試掘調査
39	本村遺跡第113地点	東原52-22	1,051	駐車場	2002.8.22	—	試掘調査、地点を後付加
40	東台遺跡第39地点	大井626-8	100	個人住宅	2002.6.3~6.20	—	試掘調査
面積合計			21,181				

XI 本村遺跡の調査

1 遺跡の立地と環境

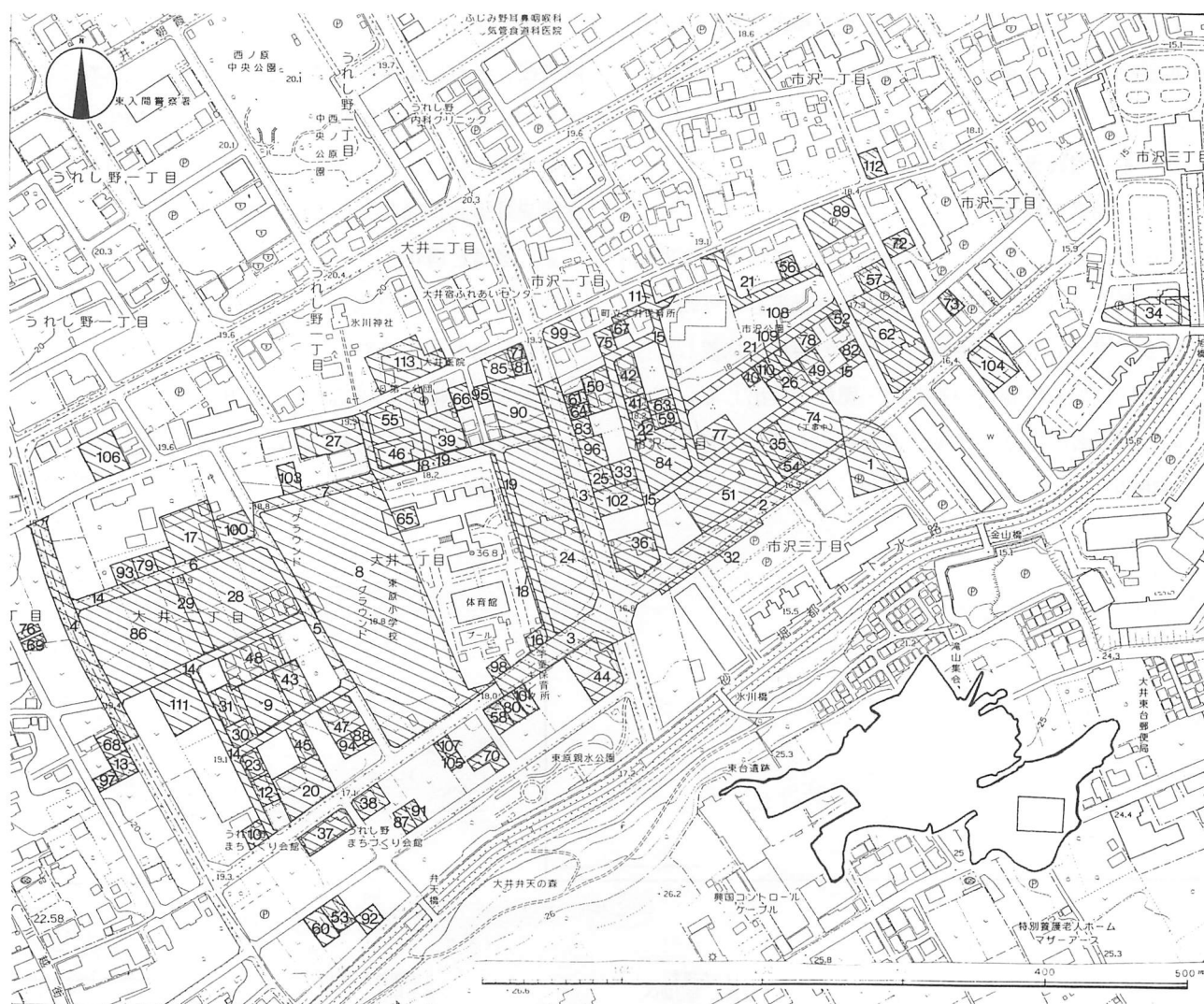
本村遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の南西約800m、砂川堀の左岸で標高15~20mに位置する。遺跡内には旧砂川の流路であった埋没河川が幾筋も認められ、それに取り残されるように微高地が存在する。砂川堀は狭山丘陵外縁に湧水を成し、武蔵野台地上を南西から北東に流れて新河岸川に合流する。

砂川堀の流域には多くの遺跡で、旧石器時代からの人々の活動の跡をみることが出来る。現在においても砂川の果たす役割は当時にも増して大きいものであるが、残念ながらその役割は大きく異なり、用水機能としての砂川から排水機能の砂川堀と言うのが現在の状況である。町内を流れる砂川堀も河川改修により、その姿を都市下水路に変え、往時を忍ばせる面影は残されていない。

周辺の遺跡では、砂川堀を挟んで縄文時代中期の大集落と奈良平安時代の製鉄関連遺跡である東台遺跡、旧石器時代の大井戸上遺跡と西台遺跡が位置する。左岸には旧石器時代～縄文時代の小田久保遺跡、旧石器時代～近世の大井氏館跡遺跡が位置する。本遺跡が中世から近世にかけての中心集落とするならば、大井氏館跡遺跡は近世川越街道整備以後の中心的な宿場および集落とみることができる。

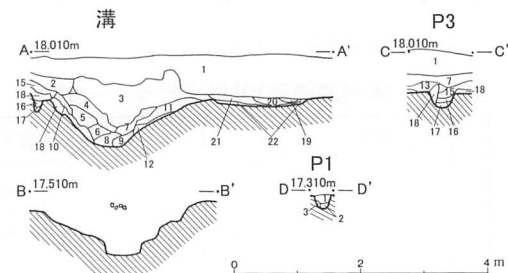
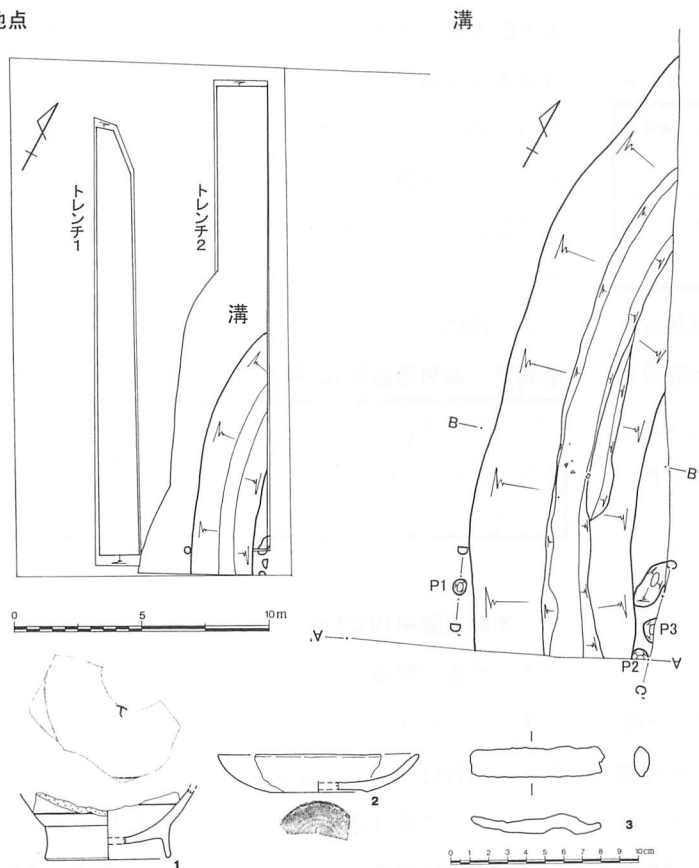
いずれにしても、町内における砂川堀流域の本村遺跡周辺は旧石器時代から現代にかけて良好な生活・住環境であったことがわかる。

2005年3月現在113地点で調査し、旧石器時代の礫群・石器ブロック、縄文時代の落し穴・炉穴、中世～近世の掘建柱建物・方形竪穴状遺構・井戸・溝・柵列・地下式墳・茶毘跡等を多数検出している。



第94図 本村遺跡の地形と調査区 (1/5,000)

101地点



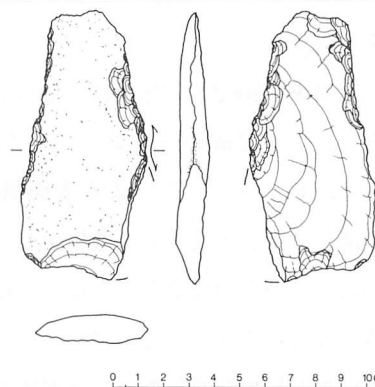
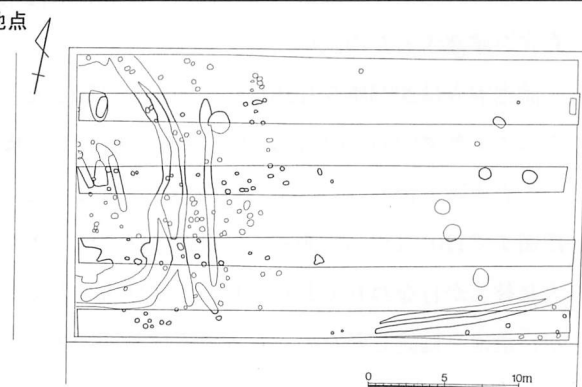
SPA・C

- 1.黒褐色土 締り弱、表土、耕作土
- 2.黒褐色土 締り有、粘性弱、大きなブロック状の土
- 3.黒褐色土 締り有、粘性やや有、ローム粒やや多量
- 4.黒褐色土 締り弱、粘性無、ローム粒少量、色はやや明るい
- 5.黒褐色土 締り有、粘性やや有、ローム粒やや多量、ロームブロック少量
- 6.ロームブロックなし
- 7.黒褐色土 締り弱、粘性無、ローム粒少量、ややサラサラする
- 8.黒褐色土 締り有、粘性有、ローム粒多量、ロームブロック少量
- 9.ロームブロック多量
- 10.褐色土 締りやや有、ローム粒主体、暗褐色土混入
- 11.褐色土 締り有、粘性やや有、ローム粒極多量、ロームブロック多量
- 12.黒褐色土 締り有、ローム粒・ロームブロック極多量
- 13.黒褐色土 締り弱、ロームブロックとの混合土
- 14.黒褐色土 締り弱、ローム粒多量、ロームブロック多量
- 15.暗褐色土 締り弱、ローム粒極多量
- 16.黒褐色土 締り有、ローム粒多量
- 17.黄褐色土と黒褐色土の混合土 締り有
- 18.黄褐色土 締り有、ロームブロック主体、ややもろい、黒褐色土混入
- 19.ロームブロックと黒褐色土の混合土 締り弱、埋土
- 20.褐色ローム主体 締り弱、埋土
- 21.黒褐色土 締り弱、ローム粒多量に含む、埋土
- 22.地山ローム 埋土

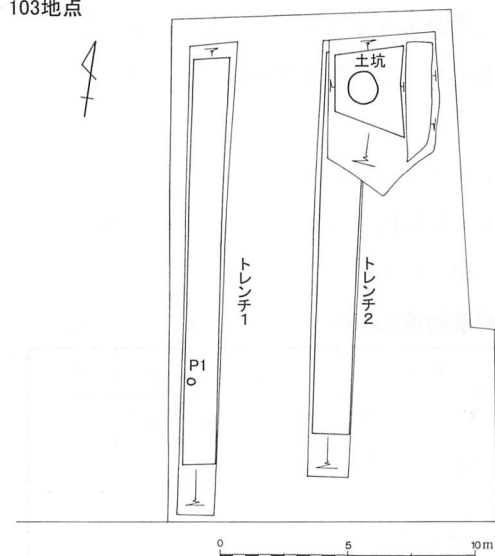
ビット1

- 1.暗褐色土 締り硬い、ローム粒多量に含む
- 2.暗褐色土とローム粒の混合土 締り硬い、
- 3.ロームブロック主体 締り有、

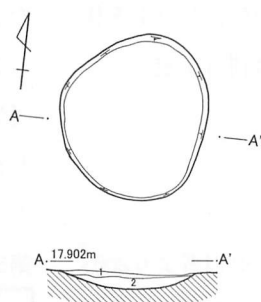
102地点



103地点



土坑



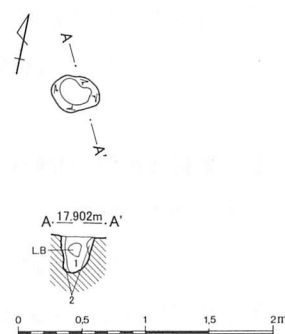
土坑1

- 1.黒褐色土 締り弱、茶褐色ブロック混入、ロームブロック多量に含む
- 2.茶褐色土の地山

ビット1

- 1.黒褐色土 締り弱、茶褐色ブロック混入
- 2.地山 ロームブロックは茶褐色の地山ブロック

P1



ており、新しい溝は断面「コ」字形を呈する。出土遺物から埋没時期は19世紀。

第48表 本村遺跡第101地点ピット一覧表 (単位cm)

No	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
1	円形	25 × 20	15 × 11	23	
2	不明	23 × (15)	11 × (7)	29	
3	不明	40 × (18)	16 × (7)	15	

【溝出土遺物】1は染付け磁器で広東碗の底部破片、底径4.2cm、1780～1840年代の肥前産。2は鉄陶器の灯明皿、推定口径10.6cm、推定底径5.0cm、器高2.0cm、1690～1790年の志戸呂産。3は不明鉄片。他に中世の土器鉢の破片が出土した。

4 本村遺跡第102地点

(1) 調査の概要

調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より2002年11月1日付けで、「埋蔵文化財事前協議書」が提出された。申請地は遺跡範囲の中央に位置するため、原因者と協議の結果、遺構の存在を確認するため試掘調査を実施した。

試掘調査は2002年11月11日から同年11月15日まで行なった。幅約2mのトレンチを4本設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行なった結果、溝、井戸、土坑等を多数検出した。原因者と再協議の結果、開発の変更ができないため、原因者負担による本調査を実施することになった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ない、試掘調査を終了した。

本調査は2002年12月11日から2003年2月10日まで大井町遺跡調査会が行ない、縄文時代の落し穴1基、中世の溝6条、井戸7基、土坑11基、柵列、ピットを検出した。(大井町遺跡調査会で報告書刊行予定)

5 本村遺跡第103地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2003年1月27日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央に位置しているため、原因者と協議の結果、遺構確認の試掘調査を実施した。

試掘調査は2003年2月13日から同年2月18日まで行

なった。幅約2mのトレンチ2本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なった結果、ほぼ調査区全域で表土の入れ替えが行なわれており、ロームで盛土されていた。確認面まで100～160cmを測る。一部で遺構を確認したため、重機で遺構範囲の表土を除去し人力で調査した。検出遺構の写真撮影・遺構測量等記録保存を行ない調査を終了した。

(2) 遺構

第49表 本村遺跡第103地点遺構一覧表 (単位cm)

No	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
土坑1	円形	130 × 119	122 × 109	8	
ピット1	不整形	39 × 29	25 × 20	29	

6 本村遺跡第104地点

(1) 調査の概要

調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より2003年4月15日付けで、「埋蔵文化財事前協議書」が提出された。申請地は遺跡範囲外で東端隣接地に位置しているため、原因者と協議の結果、遺跡の範囲と遺構の存在を確認するため試掘調査を実施した。

試掘調査は2003年5月15日から同年5月30日まで行なった。幅約2mのトレンチを3本設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行なった。確認面まで110～130cmを測る。ほぼ調査区全域で表土の入れ替えが行なわれており、ロームで盛土されていたが、遺構を確認したため、重機で遺構範囲の表土を除去し人力で調査した。検出した遺構は縄文時代の炉穴、中世以降の溝、地下式墳、土坑、ピットである。写真撮影・遺構測量等記録保存を行ない調査を終了した。遺跡範囲については変更増補を行なった。

(2) 遺構

【炉穴】調査区の北東隅に4基検出した。溝や表土入れ替えにより上部は削平されている。出土遺物はないが、覆土から縄文時代の炉穴である。

第50表 本村遺跡第104地点炉穴一覧表 (単位cm)

No	平面形態	確認面	焼土	深さ	備考
1	不整形	46 × 39	92 × 63	10	
2	楕円形	54 × 38	74 × 63	20	
3	不明	(33) × (23)	(43) × (36)	20	
4	不明	×	21 × (14)	10	



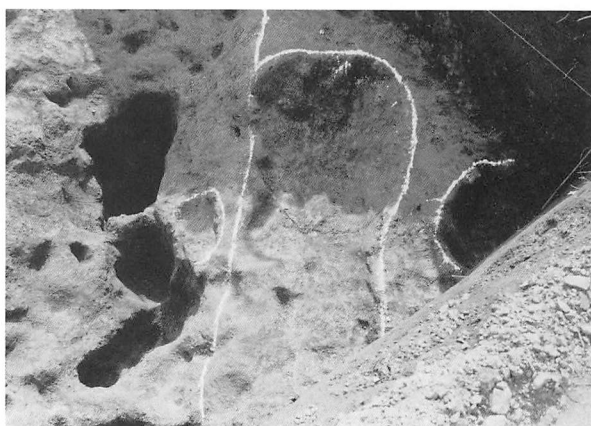
本村遺跡第103地点試掘調査



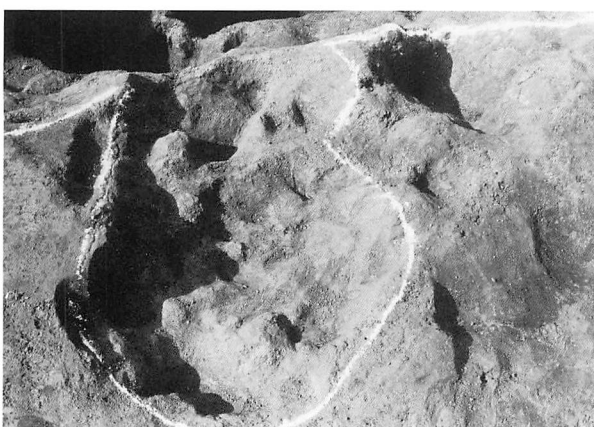
本村遺跡第104地点調査区南側



本村遺跡第104地点溝・炉穴群



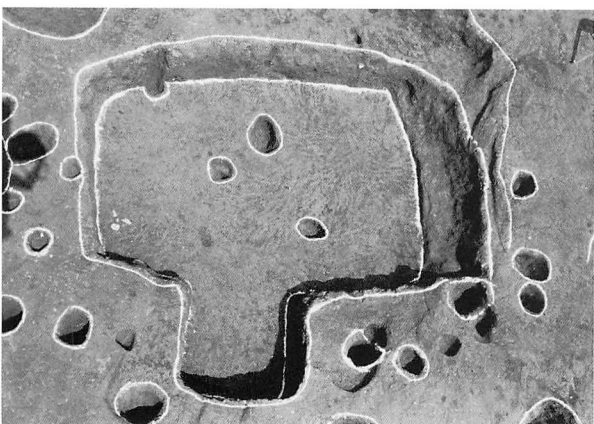
本村遺跡第104地点炉穴



本村遺跡第104地点炉穴



本村遺跡第104地点土坑



本村遺跡第104地点地下式壙



本村遺跡第104地点地下式壙